

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス すてーじ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 8日		～ 令和8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21部	(回答者数) 20部
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 8日		～ 令和8年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7部	(回答者数) 7部
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備 ・事業所自己評価項目 1・3・4・5 ・保護者用集計シート項目 1.2.3.4	子ども達が過ごしやすい環境、活動しやすい空間を常に意識している。5S活動による整理整頓・清潔に心がけている。	今後もよりよいサービス提供が継続できるように事業所内の環境改善に取り組みたいと考えている。
2	適切な支援の提供 ・事業所自己評価項目 12・14・22・25 ・保護者用集計シート項目 5 6 7	個別支援計画書作成後、専門職が専門的支援計画書を作成する際に、児童発達支援管理責任者と情報を共有しながら作成を行っている。子どもの意思決定を尊重するために視覚的構造化を工夫し、本人の意思表出を促したり、成功体験を重ね(スモールステップ)られるよう職員で継続的支援を行っている。	専門職がより知識や経験が豊富になる研修会への参加を検討する他、子どもそれぞれの特性に応じた成長の状態を保護者と共有し、得意不得意等のアセスメントを強化していく。研修に関しては、支援業務調整を優先することもあったため、Eランニングや動画視聴なども積極的に導入していきたいと考える。
3	関係機関や保護者との連携 ・事業所自己評価項目 31・32・33	各関係機関との密な連携は、「切れ目のない支援」をする上でも非常に重要なので、積極的に実施している。また他事業所との活動サービスについて情報交換するなどの機会を設けることができた。	各関係機関との連携を継続し、子どもの療育や生活支援、保護者やご家庭、ご兄弟の支援を行っていきたい。
4	保護者への説明等 ・事業所自己評価項目 36・38・39 ・保護者用集計シート項目 12 13 15	子どもの成長段階に応じた保護者の困り感や育児に関する助言を行う際、可能な限り保護者に共感するが、最終的に子どもの成長を中心とした助言を行っている。自宅で見ることのできない子どもの成長や普段目につかない小さな成長を細かくお知らせするようにしている。	これまでの受容と共感を大切にす姿勢を継続していきながら、今まで以上に信頼関係の構築を築けるよう、保護者の思いや気持ちを受け止め、寄り添っていく支援をしていきたい。
5	非常時等の対応 ・事業所自己評価項目 46・47・48 ・保護者用集計シート項目 23・24・25	戸外活動での出かけ先の災害マップや緊急時避難場所などの確認などを活動計画作成と同時に確認する他、公用車に緊急時の避難場所など送迎時の緊急事態発生時の避難を明確にしておく。	緊急時に備え、マニュアルの整備や保護者へマニュアル配布等は行っている。安全性を確保、初期対応、報告が速やかに行えるよう職員訓練や子ども参加型の訓練を実施していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明 ・事業所自己評価項目 40・45 ・保護者用集計シート項目 14・18 適切な支援 ・保護者用集計シート項目 11	保護者同士の繋がりや交流をする機会がほとんどない。公園や公共施設利用時は、地域の子どもの関りはあったが、地域住民や子どもを含めた交流の取り組みについて具体的な活動へとは繋がらなかった。また昨年度検討した調査(提供時間外の職員の参加や保護者の就労に関する実態)が実施できなかった。	※令和8年度重点取り組み課題 地域の中での交流などは、社会性やコミュニケーション能力の向上などにも繋がるため、事業所外での社会経験は子どもの将来への基盤を築く機会ともなる。今回実施できなかった調査の実施と、調査結果を踏まえた今後の活動のあり方について検討をしていきたいと考える。